

免疫学

責任者：高木 康
学年・学期：第1学年・後期

単位数：1単位(30時間)

◆一般目標(GIO)

免疫血清学的臨床検査を理解し、臨床実習を円滑に行うために、主に動物(ヒト)での生体免疫に対する基本的な知識を習得する。

◆到達目標(SBOs)

1. 「免疫」の概念、免疫に関与する因子・細胞について説明できる。
2. 抗原の条件、種類について述べるができる。
3. 免疫グロブリンの種類と基本構造を説明できる。
4. 免疫グロブリンの多様性について説明できる。
5. 外界からの抗原の侵入に対する生体の反応を説明できる。
6. 一次免疫応答、二次免疫応答について説明できる。
7. 感染に対する生体の防御機序について説明できる。
8. 輸血・臓器移植の概略を説明できる。
9. アレルギーの概略を説明できる。
10. 腫瘍免疫の概略を説明できる。

◆学習方法

プリント、教科書を用いた講義と授業前の自学自習により学習する。

◆評価方法

確認試験、定期試験により行う。

◆教科書

臨床検査学講座 『免疫検査学』 窪田 哲朗 他著 医歯薬出版(株)

◆参考書

『好きになる免疫学』 多田 富雄 監修、萩原 精文 著 講談社サイエンティフィク

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項 目	講 義 内 容	担 当
1	概念と種類①	免疫とは	高 木
2	概念と種類②	免疫の種類	〃
3	概念と種類③	免疫の特異性	〃
4	抗 原①	抗原とは(完全抗原と不完全抗原)	〃
5	抗 原②	ハプテンとアジュバント	〃
6	抗 体①	抗体と血清蛋白	〃
7	抗 体②	抗体の基本構造	〃
8	抗 体③	免疫グロブリンの種類	〃
9	免疫担当器官・細胞①	リンパ節、胸腺、脾臓	〃
10	免疫担当器官・細胞②	リンパ球	〃
11	免疫担当器官・細胞③	マクロファージ、顆粒球	〃
12	免疫応答①	抗体産生機構	〃
13	免疫応答②	一次免疫応答と二次免疫応答	〃
14	免疫応答③	抗体産生調節機構	〃
15	感染と免疫	感染に対する生体防御	〃